

# ひしゃっと!



座りたい

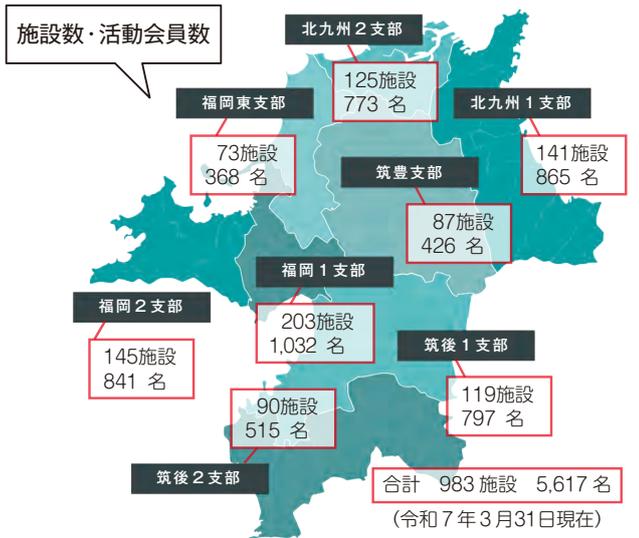
田中 絃明 / きゆ訪問看護ステーション

## 公益社団法人 福岡県理学療法士会

### 【巻頭言】

ご存じですか? 「栄養」「嚥下」「運動」の大事な関係

巻頭言	1
お仕事紹介	2
夢を叶える	3
学術推進部からのお知らせ	4
保健福祉部からのお知らせ	5
認知症予防のための体操	6~9
福岡ブロックからのお知らせ	10
北九州ブロックからのお知らせ	11
筑後ブロックからのお知らせ	12
令和6年度 福岡県理学療法士会 公益事業費支出割合のご報告	13
お知らせ	14
福岡県理学療法士会功労賞表彰式	15



# 巻頭言



公益社団法人 福岡県理学療法士会  
会長 西浦 健蔵

## ご存じですか？「栄養」「嚥下」「運動」の大事な関係

「いつまでも健康的な生活を送りたい」——これは誰もが願うことでしょう。特に高齢期を迎えると、健康寿命を延ばすための取り組みが重要になります。その鍵を握るのが「栄養」「<sup>えんげ</sup>嚥下」「運動」の3つの要素です。

日々私たちが口にする食事。食事で栄養をしっかりと得るためには、噛む・飲み込むといった摂食嚥下機能が正常に保たれていることが前提となります。しかし、高齢になるとこの機能が徐々に低下し、オーラルフレイル（口腔機能の虚弱）と呼ばれる状態を引き起こします。これが全身的なフレイル（身体的虚弱）へとつながり、筋力や活動量の低下、さらには生活の質の低下を招くのです。

この悪循環を防ぐためには、早期からの予防的介入が不可欠といわれています。自宅でも簡単にできる運動療法として、首の筋肉をほぐす体操、舌や嚥下に関わる筋肉を鍛えるトレーニング、さらには有酸素運動や筋力強化運動などを取り入れることが効果的です。運動によって筋肉量が維持され、代謝が高まり、栄養もより効率よく使われるようになります。

また、食事面においては栄養の「バランス」が重要です。体重の増減を見ながら、消費エネルギーと摂取エネルギーのバランスを意識し、1日7品目以上を目安に多様な食品を取り入れましょう。特に、筋肉づくりにはたんぱく質が欠かせません。肉、魚、乳製品、卵、大豆製品を毎日、片手に乗る程度の量を目安に摂取することが推奨されます（ただし腎臓の機能に異常のある方は医師の指示に従ってください）。

日々の食事量を減らしてしまうと、栄養失調や筋力低下のリスクが高まりますので、食が細くなる方は食事の回数を増やすことで対応しましょう。さらに、水分摂取も忘れないようにしましょう。目安は1日あたり1.2リットルです。

私たち理学療法士は、こうした「食べる・動く・栄養を摂る」の好循環を支える専門職です。地域や家庭における健康支援の一環として、この視点を多くの方々と共有していきたいと考えています。



（参考：理学療法ハンドブック シリーズ12 栄養・嚥下）

<https://www.japanpt.or.jp/activity/books/handbook12/book/#page=1>

表紙写真は第7回フォトコンテストの最優秀賞受賞作品です。  
撮影エピソードはこちらからご覧いただけます。



<https://fukuoka-pt.jp/information/8808.php>



広報誌「ぴしゃっと」体操集はこちらからご覧いただけます。

<https://fukuoka-pt.jp/general/pr-magazine.php>

# お 仕 事 紹 介

理学療法士が働く様々な分野を紹介します！

## 海外医学雑誌の査読で活躍する理学療法士

北九州市立医療センター リハビリテーション技術課 理学療法士 音地 亮

私は北九州市の地域がん診療連携拠点病院に勤務し、リハビリテーション課内の管理業務も担いつつ、日々さまざまながん患者さんの支援に携わっている理学療法士です。一人ひとりの患者さんと向き合い、理学療法を通じて心身機能の回復や生活の質の向上を目指すこの仕事に大きなやりがいを感じています。また、臨床業務のかたわら研究活動も行っており、学会での発表や論文執筆などにも力を注いでいます。



このたび、海外の膵臓がん専門雑誌「Annals of pancreatic cancer」より2025年の「Reviewer of the month (優秀査読者)」に選出されました。年間3～5名ほどが世界中から選出される賞であり、研究論文の質を高めるための査読に貢献したことが評価されたと伺っています。日本人、かつ医師以外の立場で選出されるのは極めて稀とのことで、大変光栄に思います。

「査読(さどく)」という言葉は一般の方にはあまり、馴染みがないかもしれません。これは専門家が他の研究者の論文を掲載前にチェックして、内容が正確か、信頼性があるかといったことを評価する重要な作業になります。例えるなら、料理(論文)がお客様のもとに運ばれる前に、プロの料理人がその味(内容)や盛り付け(構成)をチェックすることに似ています。医学論文は投稿すればすぐに公表されるというわけではなく、このようなプロセスを経て初めて世の中に公開されるのです。



査読はどちらかというと目立たない裏方の作業です。臨床の業務を行いつつ査読時間を捻出することも非常に難しいのですが、「質の高い論文がひとつでも多く世に出ることが、がんと闘う患者さんの助けになる」という思いから、査読業務にも常に全力で取り組むよう心がけています。

今回の表彰を通じ、世界の最新のがん医療の知見に改めて触れることができました。今後はこの経験を地域の患者さんやご家族の支援に活かし、北九州をはじめ、福岡県のがん医療の一助となるよう努めていきたいと思っております。



Reviewer of the monthの掲載ページはこちら➡

<https://apc.amegroups.org/post/view/reviewer-of-the-month-2025>

# 夢を叶える

株式会社麻生飯塚病院 理学療法士 小樋 雅隆

私は認定スクールトレーナーとして活動をしている理学療法士です。私が認定スクールトレーナーの資格取得を目指したのは、児童・生徒を支援する機会を得たいと思ったためです。以前の職場はスポーツ整形外科であったため、臨床におけるリハビリテーションに加え、自転車競技連盟のチーム帯同や県のアスリート発掘事業などで児童・生徒と関わる機会がありました。しかし、総合病院へと職場が変わったことで、児童・生徒と関わる機会がほとんどなくなったことから、学校保健分野に携わる認定スクールトレーナーに興味を持つようになりました。



昨今、子どもの運動器疾患が早期化・低年齢化している一方で、教育現場の教職員は医学的な専門知識に乏しく対応に困難さがあるといった社会的な背景が指摘されています。そのため運動器の専門家が学校現場に直接関わることの必要性はますます高まっています。こうしたなか、認定スクールトレーナーは、①運動器検診の結果の読み取りや、生活・運動指導の提案など健康管理・疾病予防のための関わり、②姿勢や身体の使い方のアドバイス、成長期の注意点など保健教育面の支援、③教職員や養護教諭に対する専門的アドバイス、④医師、病院、教育委員会などと連携した地域支援活動、⑤新しい学校保健モデルの実践と発信、などの役割が期待されています。つまり、認定スクールトレーナーを取得することで①学校現場での保健指導や支援活動、②教職員・保護者への助言と教育、③学校医・整形外科医との連携、④地域連携モデル事業への参画などの役割を果たすことが可能となり、学校保健の質の向上に貢献できるようになります。

認定スクールトレーナーの試験を受験するためには、30単位のeラーニングと確認テストに加え、2日間の実地研修を受講する必要があります。実地研修では、全国から集まった先生方と課題を通して交流を深めることで、スクールトレーナーに必要な知識や経験を共有しました。また、試験合格後に行ったZoomのアフターミーティングでは、全国で活動されている先生方の活動実績について情報を共有していただきました。

今後は、福岡県内ですでに活躍されている方や学校保健分野に興味がある方とも連携しつつ、まだ活動が展開されていない地域における児童・生徒の支援に貢献していきたいと考えています。



# 学術推進部の活動のご紹介

事務局学術推進部 担当理事 善明 雄太

学術推進部は、県内の理学療法士の学術的な成長と専門性向上を目的として、多岐にわたる事業を展開しています。主な活動として、福岡県理学療法士学会の開催、理学療法講習会の企画・運営、認定理学療法士カリキュラム教育機関の運営、機関誌『理学療法福岡』の編集などが挙げられます。ライフスタイルの多様化に対応するため、対面での企画に加えオンラインでの研修も積極的に実施するなど、会員の皆さまに幅広い学びの機会を提供しています。今回は各事業の詳細についてご紹介します。

### 【福岡県理学療法士学会】

学術推進部では、理事と部長を中心に、会員の皆さまにとって有益な学会を企画しています。その甲斐あって県内外の著名な先生方にご講演いただく機会も増え、演題数も年々増加するなど、学会自体も進化を続けています。発表と参加の両面において、会員の皆さまにとって実り多い機会となるような運営を心がけています。

### 【理学療法講習会】

日本理学療法士協会(JPTA)が指定する部門に沿った内容の中から、現在の福岡県に必要と思われるテーマを選定して開催しています。基本的に土日祝のいずれか開催しており、オンラインの利点を活かし、県内外の講師を積極的にお招きしています。毎年200～300名の会員にご参加いただき、臨床に役立つ知見を得る場としてご好評をいただいています。

### 【認定理学療法士カリキュラム教育機関の運営】

認定理学療法士を取得するために受講が必要となる研修で、本会ではこれまでに「運動器」「脳卒中」分野を開講してきました。県内の専門性の高い先生方にご協力いただき、質の高い教育カリキュラムを提供しています。今後は、開講分野の再編なども視野に入れた検討を進めていきたいと思っております。

### 【『理学療法福岡』の編集】

会員の皆さまから投稿いただいた論文の査読・編集・掲載などの業務を行っています。投稿論文は、査読委員による確認と指摘を経て、著者による修正と再査読を繰り返しながら質の高い論文になります。近年は投稿数も大きく増加し、誌面の充実が進んでいます。



以上のように、学術推進部の役割は単なる学術企画にとどまらず、県内理学療法士が「学び、実践し、発信する」ための土台を築くことにあります。講師や座長の役割を会員の皆さまに広く担っていただくことで、より多くの方が学び、発信する機会を得られる仕組みづくりを推進しています。専門性をさらに深めたい方、研究に挑戦したい方、多職種連携の中で理学療法の可能性を広げたい方などにとって、学術推進部の取り組みが力強い支援となることを目指しています。

社会情勢や医療制度の変化に柔軟に対応しながら、今後も学術的な価値と臨床実践との橋渡しを担いたいと思っております。福岡県理学療法士会の一員として、共に学び、成長し合える環境づくりを進めて参りますので、ぜひ今後も学術推進部の活動にご注目ください。

### 福岡県介護業務における介護職員の腰痛予防研修会」のご紹介

事務局保健福祉部 スポーツ支援部 部長 井内 陽三

「腰痛予防」。皆さんは、この言葉を聞いて何をイメージされますか。「腰が痛くならないための体操のこと?」、「腰を痛めないようなベルトを使う?」など、人によって思い浮かべることはまちまちではないでしょうか。このたび保健福祉部で開催した「福岡県介護業務における介護職員の腰痛予防研修会」では、参加者の皆さまにこの「腰痛予防」についてお伝えしましたので、ご紹介したいと思います。

この研修に参加する方々の職場は、病院、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、訪問看護ステーション、デイサービスなど多岐にわたります。また職種でいえば、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士など、医療や福祉に関わる方々が、幅広く受講されています。

講師は、日々、腰痛予防に関連した仕事をしている理学療法士が務めました。日程は「基礎編」「応用編」の2日間に分かれており、講義形式と実技を通して、「腰痛予防」に関する幅広い内容を学びます。腰痛の原因やその対処方法だけでなく、予防を目的としたセルフケアの方法（「これだけ体操」<sup>®</sup>や「セルフストレッチの方法」）、国が推進している腰痛予防政策、職場での体制作りなど、多くの内容をお伝えしています。実技では、体に負担がかかりにくい介助方法や福祉用具の活用方法などをグループワークで実践的に学ぶことができます。会場には、ベッドやリフトなど介護で役立つ福祉用具を準備しました。

腰痛予防を図ることは、結果的に「介護者」と「介護を受ける方」双方のメリットになることを重点的にお伝えしており、実技の演習にも、参加者の皆さんは真剣なまなざしで取り組まれます。指導にあたっては、基本的な方法だけでなく、参加者の体力や体格に合わせた方法なども提案しています。

参加者の熱意は、現場の困りごとへの助言を求めることにも表れます。これに対して講師陣と一緒に解決策を考えますが、現場の数だけ答えがあるとも言え、明確に答えが出ないことも少なくありません。ときには周囲の参加者が、自施設の方法を紹介してくださる場面もあり、参加者みなで共に作り上げる有意義な研修になりました。

厚生労働省の調査では、保健衛生業（社会福祉施設や医療保健業を含む）において腰痛発生件数が増加傾向にあり、腰痛発生率は全職種を大幅に上回る状態とされています。腰痛予防対策は重要性がますます高まるなか、この研修会が「腰痛予防」という社会的なニーズに答えられるように、そして何より、結果として「介護職員」と「介護を受ける方」の双方が笑顔になる手助けとなれば幸いです。



腰痛予防のセルフストレッチ指導の様子



リフトの使用法と介助方法を指導している様子

# ための体操

## 医療・介護分野でのコグニサイズの活用

コグニサイズは、病院内でのレクリエーション活動や通所介護施設でのリハビリなど、様々な場面で認知症予防プログラムとして導入されています。

近年ではフレイル対策としても注目されているほか、地域のサロン活動や健康増進イベントでの多世代交流などにも活用されています。

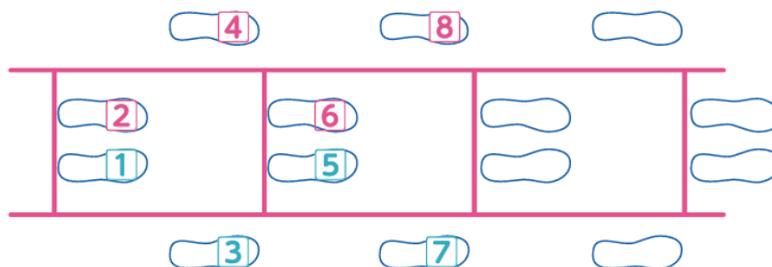


## ラダーを使ったコグニサイズ

応用編

はしごのような形をした運動用具「ラダー」を使ったコグニサイズをご紹介します。1日10分程度を目安に取り組んでみましょう。

※転倒の危険性や不安感がある人は、第21号でご紹介した座位編がおススメです。  
※ラダーはスポーツ用品店などで購入できます。床にテープを貼るのもいいでしょう。



### 【ルール】

- ・1から8まで声に出して数えながら、順番に足を踏み出します
- ・3、4、7、8歩目は、ラダーの外側に踏み出します
- ・7歩目を出すときだけ、一緒に両手を叩きます

# 認知症予防の

## コグニラダー

POINT! 最初はゆっくりやってみましょう 慣れてきたら、少し速めに

①開始姿勢



両足を肩幅に開いた状態で立ちます

②右前に一步



まず、みぎ足を一步前に出します

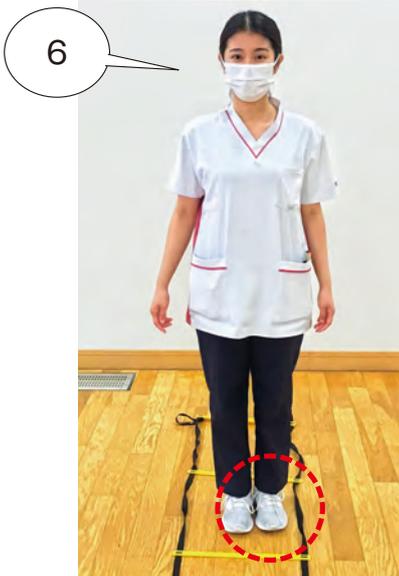
③足を揃える



ひだり足を一步前に出し、足を揃えます

POINT! 次の足をどう出すか考えながら行くと、より効果的です

⑦左前に一步



ひだり足もマスの内側に戻します

⑧右前に一步



みぎ足を、再度前方のマスの外側に出します(ここで手を叩きます)

⑨左前に一步



ひだり足を一步マスの外に出します



# ための体操



④右前に一步



みぎ足を、前方のマスの外側に出します

⑤左前に一步



ひだり足も、前方のマスの外側に出します

⑥右前に一步



みぎ足をマスの内側に戻します

声を出してカウントしながらやってみましょう  
8歩で1セットですので、体力に応じて繰り返してみましょう

コグニラダーを動画でご確認いただけます



<https://www.youtube.com/watch?v=QpReoopivaw>

8

7

6

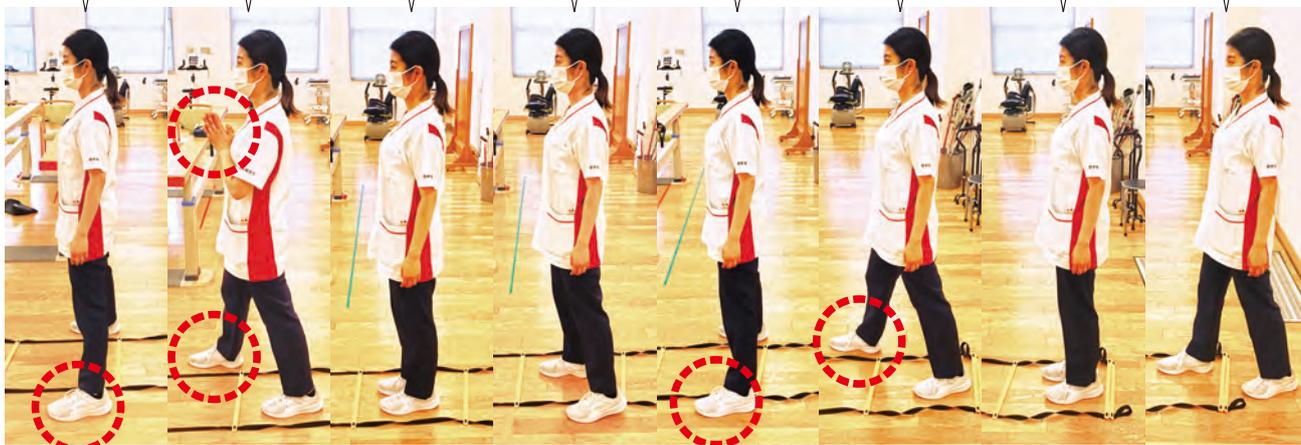
5

4

3

2

1



# 認知症予防の

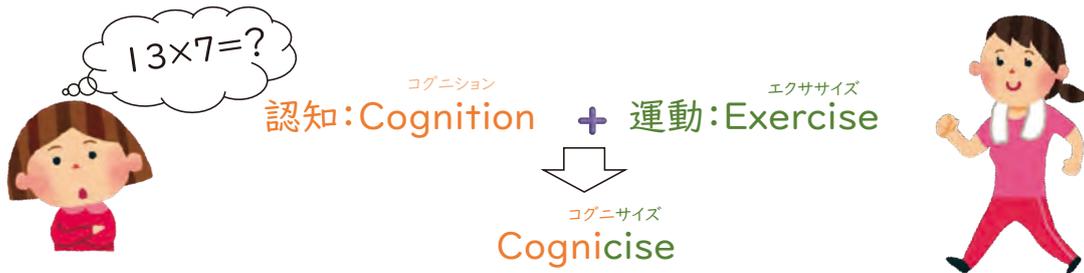


2025年現在、65歳以上の高齢者の18.5%の人が認知症であるといわれており、2030年には5人に1人にのぼると推計されています。

認知症の1つであるアルツハイマー病等に関する認識を高め、世界中の患者様とそごご家族に対する支援の必要性を理解してもらうことを目的に、毎年9月21日は**世界アルツハイマーデー**に制定されています。

また、**世界アルツハイマー月間**である9月は、認知症への理解を呼びかける様々な活動が行われています。

## コグニサイズとは？



**頭を使いながら運動**することで  
認知症予防を図るエクササイズです

「軽度認知障害と判定された高齢者のうち、コグニサイズをしたグループでは、**記憶力の成績が良くなり、脳の萎縮が抑えられた**」

体と脳の若返り応援ノート(国立長寿医療研究センター開発 認知症予防を目的とした脳活性化運動プログラム「コグニサイズ」)より

**運動**は生活習慣病を予防するだけでなく、  
認知症になるリスクを低下させます!



# 福岡県理学療法士会 福岡ブロック からのお知らせ

## ～糸島市と歩む健康づくりー 理学療法士の力を地域へ～

福岡ブロック 保健福祉担当 高橋 志野  
(アップルハート訪問看護ステーションひよこ)

保健福祉部では地域高齢者の健康増進や介護予防を目的とした取り組みを展開しています。

私は、令和6年度より福岡ブロックの保健福祉部で糸島市との委託事業に関する活動を担当しています。

糸島市の高齢者世帯は年々増加しており、令和5年度の高齢化率は30.1%と県平均(28.0%)より高く、今後さらに高齢化が加速していくと予測されています。地域のニーズや課題に対する支援事業として、理学療法士を派遣し専門性を活かしたアドバイスや関係者への知識・技術向上支援を行うことや、地域ケア会議や地域住民が主体となる通いの場へ派遣する理学療法士を育成する事業のサポートを行っています。平成27年より開始した委託事業ですが、理学療法士の関与により介護保険料の引き下げを達成しています。地域の需要に見合った派遣理学療法士の充足が現在の課題となっており、人材育成の準備を進めています。地域に密着し、皆さまの日常生活に繋がる心のこもった貢献活動を目指していきます。



## 第107回福岡県理学療法士会学術研修大会 in 福岡

大会長 齊藤 貴文(令和健康科学大学)

症例検討会  
同時開催!

日時 10月5日(日) 9:00~16:30(対面開催のみ)

会場 TKPエルガーラホール(福岡市中央区天神1丁目4-2)

他ブロック  
の方も参加  
可能です

9:00~10:00

### ティップス&テクニク

臨床推論の実際

神経系 福岡和白病院  
山口 雄介氏

運動器障害系 九州大学病院  
岡澤 和哉氏

内部障害系 令和健康科学大学  
陶山 和晃氏

13:00~14:00

### ハンズオンセミナー

①臨床現場でのAI活用術

桜十字福岡病院  
田代 耕一氏・宇野 勲氏

②患者満足度向上を目指した  
キネシオテーピング活用の実践と評価  
麻生飯塚病院  
小樋 雅隆氏

13:00~14:00

### 一般公開講座

誰でもできる三次元動作計測  
~無料版マーカレスモーション  
キャプチャーのHow to~



令和健康科学大学  
大田 瑞穂氏

※各講演は認定・専門PT履修ポイント(1点)の対象となります

## 福岡県理学療法士会 北九州ブロック からのお知らせ

【学術研修部よりお知らせ】 学術研修担当理事 後藤 圭 (製鉄記念八幡病院)

北九州ブロック主催 公募型研修会のお知らせ

昨年度開催した北九州ブロック研修会では、登録理学療法士、認定理学療法士、専門理学療法士の皆さまが活躍できる場を提供することを目的に、公募で選定された講師による招待講演と症例報告を企画しました。製鉄記念八幡病院の田中翔太氏による『脳卒中関連サルコペニア\*』、小倉記念病院の宮川幸大氏による『心臓手術に伴う留意点と疾患病態』など大変学びの深い1日となり、多くの良い反響をいただきました。

今後も公募型の研修会の講師募集を予定しております。

登録理学療法士、認定理学療法士、専門理学療法士をお持ちの方々は、この機会にぜひ講師としてご活躍いただければと思います。たくさんのご応募を心よりお待ちしております。



※サルコペニア…筋肉減少症

<https://qr.me-qr.com/olA9p6Gy>

【北九州ブロックで活躍している理学療法士をご紹介します】

私は飯塚市立病院に勤める理学療法士です。福岡県理学療法士会では筑豊地区の運営委員と広報部長を務めています。9年間の臨床経験で急性期・回復期で下肢の整形外科疾患を中心に担当し、現在はTKA(人工膝関節全置換術)術後の患者さま60名を対象とした治療研究に取り組んでいます。院内では広報・接遇班を立ち上げ、『地域に選ばれる病院』を目指して活動中です。将来的には、この筑豊で『自分の家族の治療を任せたい』と心から思ってもらえるリハビリテーションを提供できる環境を築いていきたいと考えています。



筑豊支部 濱口 翔  
(飯塚市立病院)



北九州1支部 千代野 滝太  
(小波瀬病院)

私は、地域理学療法認定理学療法士を取得して回復期病棟に勤める理学療法士で、脳血管疾患や補装具療法を得意としています。地域理学療法は、高齢者や障がい者、その家族が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、保健・医療の分野から生活支援の視点で活動を行うこととされています。そこで私は、京築地区の開業医を含む医師やリハ専門職、ケアマネと共に令和5年に連携協議会を設立し、「装具・痙縮治療」で地域を支える活動に取り組んでいます。協議会には医療介護関連施設のみでなく行政や教育機関の方も集まり、多方面から地域課題を抽出することでより良い地域を作れるよう活動をしています。

私は9年目の理学療法士です。現在はフェリシア福岡病院に勤務しており、整形外科領域における術後の急性期リハビリテーションを主に担当しています。これまでの経験をもとに運動器および臨床教育の認定理学療法士を取得し、臨床業務だけでなく新人教育や臨床研究にも積極的に取り組んでいます。これらの活動を通じ、患者さま一人ひとりにとって、より質の高いリハビリテーションを提供できるよう努めるとともに、職場内での卒後教育の充実を図っています。また、北九州ブロックの運営委員として、会員の皆さまの学術面の向上にも貢献していきたいと考えています。



北九州2支部 森 俊樹  
(フェリシア福岡病院)

【保健福祉部からのご案内】 保健福祉担当理事 志田 啓太郎 (戸畑リハビリテーション病院)

皆さんは地域リハビリテーションという言葉をご存知でしょうか？

地域リハビリテーションとは、病院や施設だけでなく、地域社会全体でリハビリテーションを支援する取り組みです。この中で、理学療法士は地域住民の健康と生活の質向上に大きく貢献しています。理学療法士は地域住民の皆さまが日常生活を安全かつ快適に過ごせるよう、さまざまな活動を行っています。具体的には、市民センターや公民館で実施されている転倒予防教室、地域の健康イベントでの運動指導などの取り組みを通じ、生活習慣病の予防や体力維持をサポートしています。また、高齢者の自立支援や障がいを持つ方々への適切な運動プログラムの提供、家族や介護者へのアドバイスなども行っています。理学療法士の活動は、地域住民が健康で充実した生活を送るための重要な支えとなっています。地域全体で健康づくりに取り組むために、ぜひ私たちと一緒に地域活動へ参画してみませんか？



福岡県理学療法士会 **筑後ブロック** からのお知らせ

第107回

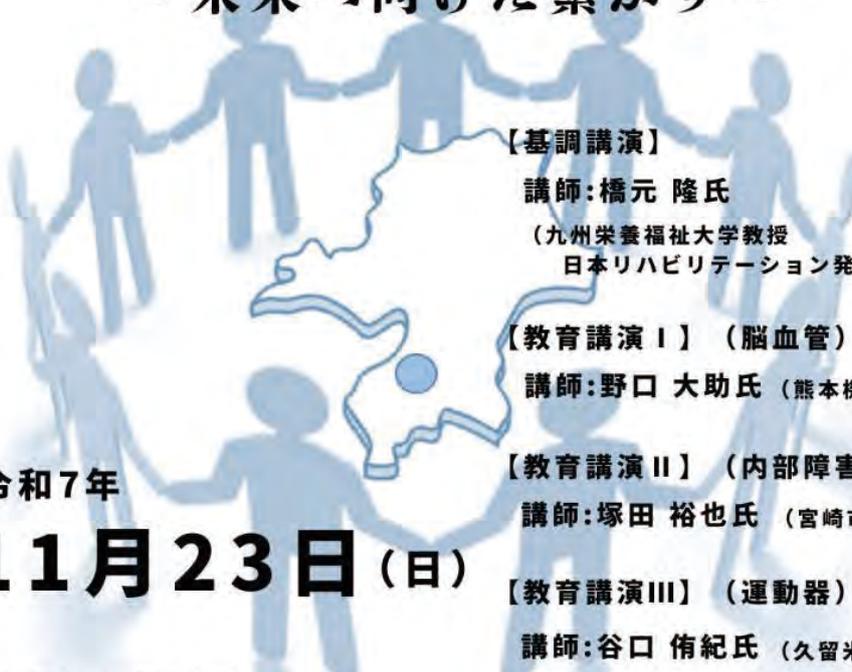
# 福岡県理学療法士会 学術研修大会

in 筑後

大会テーマ

## 原点回帰

～未来へ向けた繋がり～



【基調講演】

講師:橋元 隆氏

(九州栄養福祉大学教授  
日本リハビリテーション発祥地記念館館長)

【教育講演Ⅰ】(脳血管)

講師:野口 大助氏 (熊本機能病院)

【教育講演Ⅱ】(内部障害)

講師:塚田 裕也氏 (宮崎市郡医師会病院)

【教育講演Ⅲ】(運動器)

講師:谷口 侑紀氏 (久留米大学病院)

令和7年

日程 **11月23日** (日)

時間 9:20 ~ 17:00

会場 久留米シティプラザ

申込み先 協会ホームページ  
マイページより申込

注) 各講演、症例報告別に申込が必要

【症例報告会】 **演題募集のお知らせ**

応募締切:令和7年10月23日(木)

応募先:tateishi-k.22@outlook.com

問い合わせ:福岡県理学療法士会

筑後ブロック運営委員

y\_yasu@amagichuuou-hp.jp

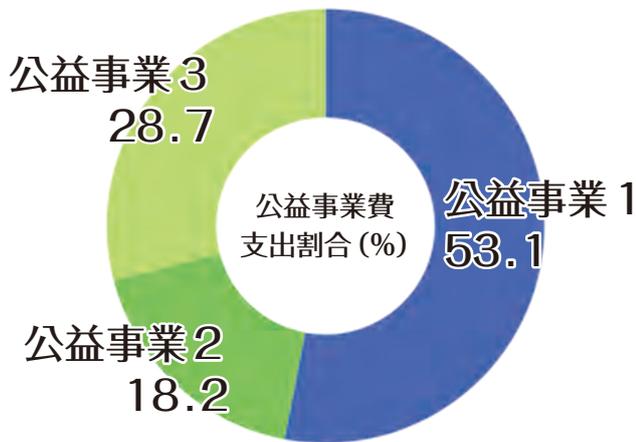


本会は、理学療法士の人格、倫理及び学術技能を研鑽し、理学療法の普及向上を図り県民の医療・保健・福祉の増進に寄与する目的で事業を展開しています。それらの事業執行には当然ながら支出が発生し、その資金の中心は会員の皆さまからお預かりしている会費等で賄っています。

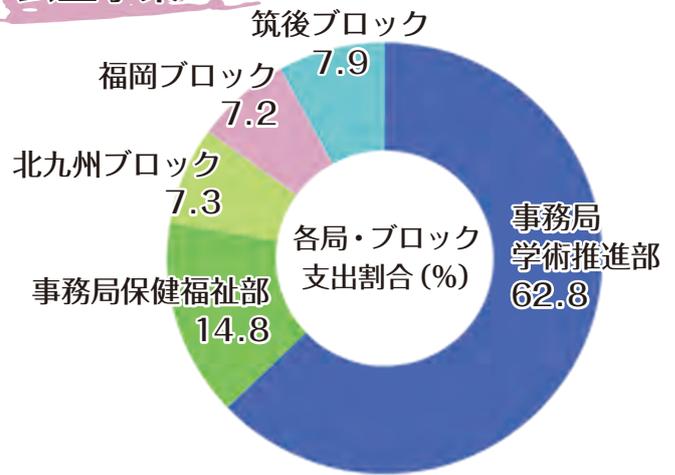
今回は、令和6年度の公益事業費がどのような割合で支出されたのか簡単にご報告します。

公益事業1：理学療法士の知識および技術の向上を図る事業  
 公益事業2：理学療法士の知識・技術の普及・啓発を行う事業  
 公益事業3：理学療法士の知識・技術を提供する事業

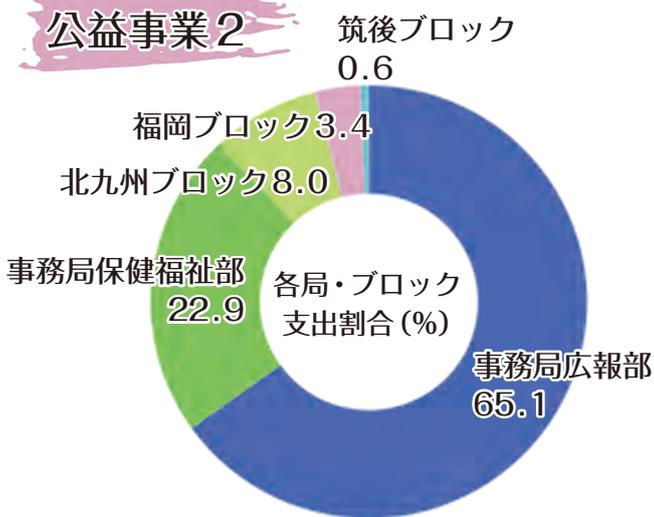
### 令和6年度 公益事業費内訳



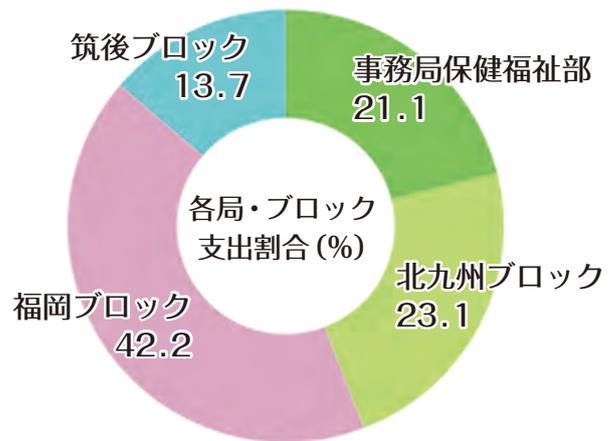
### 公益事業1



### 公益事業2



### 公益事業3



本会は、県民皆さまの医療・保健・福祉の増進に繋がる事業を通して、理学療法の普及向上を図る活動に引き続き取り組みます。

福岡県理学療法士会 令和6年度 公益事業費支出割合についてのお問い合わせはこちら→



<https://forms.gle/P8XzAG9FZ44nQds18>



医療福祉学研究所

修士課程

保健医療学専攻

理学療法学分野／作業療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／  
医療福祉教育・管理分野／福祉支援工学分野 など

博士課程

保健医療学専攻

理学療法学分野／作業療法学分野／言語聴覚分野／リハビリテーション学分野／  
医療福祉教育・管理分野／福祉支援工学分野 など

主な  
講師陣

- 理学療法学分野 久保見教授 ● 言語聴覚分野 深浦順一特任教授
- 作業療法学分野 谷口敬道教授 ● 医療福祉教育・管理分野 堀本ゆかり教授
- 福祉支援工学分野 山本澄子教授

- ◆ 多くの授業を平日夕方以降と土曜日に開講
- ◆ 福岡・大川・大田原・成田・東京赤坂・小田原・熱海に7つのキャンパスを設置
- ◆ 医療福祉における第一人者の講義を自宅などどこからでもインターネット環境があれば受講できるe-ラーニングや、Teamsを使った授業の充実

修士課程

修了者数

(平成12年度～令和6年度)  
保健医療学専攻 3,130名  
・理学療法学分野 821名

博士課程

(平成15年度～令和6年度)  
保健医療学専攻 492名  
・理学療法学分野 145名

お問い合わせ・資料請求先

国際医療福祉大学大学院

<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/faculty/kyushu/>

福岡キャンパス

〒814-0001  
福岡市早良区百道浜2-4-16  
TEL 092-407-0434  
E-mail fukucamp@ihwg.jp

大川キャンパス

〒831-8501  
福岡県大川市樓津137-1  
TEL 0944-89-2018  
E-mail oocamp@ihwg.jp



# 第61回日本理学療法 学術研修大会 in 福岡

会期

2026年 5月23日(土)・24日(日)

会場

福岡国際会議場

大会長

西浦 健蔵 (甘木中央病院)

副大会長

近藤 直樹 (福岡県理学療法士会)

準備委員長

遠藤 正英 (桜十字グループ)

開催形式

対面・オンデマンド配信

**大会趣旨** 「日本理学療法学術研修大会」は、公益社団法人日本理学療法士協会(JPTA)が主催する、理学療法士の臨床技能向上と学術交流を目的とした年次研修大会です。理学療法の発展のために毎年開催される国内最大級の全国研修会で、第61回となる来年度は福岡県が企画・運営を担当します。本大会では、理学療法士がさらに“**選ばれる職種**”となるために、どのような知識や技術を身につけ、どのような活動を展開していくべきかについて深く議論していきます。これからの時代に“**選ばれる職種**”としての未来を、ともに描きましょう。

大会長 西浦 健蔵

たくさんの方々のご参加お待ちしております！  
大会の最新情報はこちらからチェック！



HP



Instagram



X(旧twitter)

## 福岡県理学療法士会功労賞表彰式

令和7年6月15日に開催された令和7年度定時総会後に、福岡県理学療法士会功労賞表彰式を執り行いました。このたび功労賞を受賞されたのは、齊藤貴文氏、林剛己氏、嶋邨亮氏、薮野倫巳氏の4名でした。功労賞を受賞された方々からは、これまでの県士会活動に対する思いや今後の目標、そして県士会への感謝の気持ちを熱く語っていただきました。今後のご活躍を心より期待いたします。

福岡県理学療法士会では、今後も様々な分野で活躍をした方々を表彰させていただきます。引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



医療の未来を担う  
理学療法  
の専門教育

高等教育の修学支援新制度  
無償化対象校

KMS 学校法人 国際志学園  
九州医療スポーツ専門学校  
〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目1-2

## 理学療法士になるには？

理学療法士は厚生労働大臣より免許を受ける国家資格です。資格取得のためには、厚生労働省・文部科学省の定める養成校を卒業して国家試験の受験資格を取得し、国家試験に合格する必要があります。

養成校には大学、短期大学(3年制)、専修学校(4年制もしくは3年制)があり、それぞれに特色があります。福岡県内にも養成校が現在15校ありますので、理学療法士に興味のある方は自分に合った養成校を探してみてください。

### 県内養成学校一覧



詳細は  
QRコードから



<https://fukuoka-pt.jp/link/ts.php>

### ～私たちが編集しています～

編集責任者：佐々木圭太

(広報担当理事 学校法人 巨樹の会)

吉村 雅史

(広報担当理事 レ・ハビリス校十字)

編集部長：岩松 希美 (製鉄記念八幡病院)

伊織 信一 (小倉リハビリテーション学院)

白井 裕太

(白十字リハビリテーション病院)

